

福岡第2分所犠牲者追悼碑にオランダローレンティン妃殿下が献花

2017年11月23日は、福岡俘虜収容所第2分所(香焼)犠牲者追悼碑維持管理委員会にとっては、画期的かつ特別な日となった。オランダ国王の弟殿下の「ローレンティン妃殿下」は、24日の長崎出島表門橋完成記念式典にご出席のため23日に長崎入りされたが、12時過ぎには「香焼記念碑」を訪問された。朝長万左男代表、井原東洋一副代表、井黒キヨミ、小松朗の4人と香焼中学校生徒代表4人が出迎えるなか、下車された妃殿下は、一人一人と親しく握手を交わされ、捕虜犠牲者追悼記念碑及び、米軍救援機の墜落により犠牲となられた13名の記念碑にも丁寧に献花瞑目された。私には「大変困難な事業だった事でしょう」と労われ、4人の中学生にも、一人一人と親しく会話され、平和な社会の担い手に成るように諭された。王家による記念碑へ献花は、初めての事であり、オランダ王国が如何に香焼記念碑を重要視されているかの証しであり、歴史的な1日となった。

(香焼記念碑維持管理委員会副代表・井原東洋一)



慰霊碑に向き合う妃殿下と朝長代表



井黒さんをねぎらう妃殿下

